FUKUSHIMA 21 Rotary

WEEKLY REPORT

福島 21ロータリークラブ 会報

■国際ロータリー第 2530 地区 県北第一分区
福島 21 ロータリークラブ
2023-2024 年度 会長 小林 利光 幹事 渡邉 邦彦
■例会場 グランパークホテルエクセル福島恵比寿
■例会日 毎週木曜日（18：30）

VOL.06
2023.8.17

2023-24 RI テーマ
世界に希望を生み出そう

2023年8月17日（木）第6回（通算第1007回）例会 「月間スピーチ」

会長挨拶

小林 利光

皆さん今晩は、8月17日は何の日でしょうか。

前にもお話したと思いますが、日本は毎日何かの記念日になっております。

先日、福島の梁川が日本一暑い日になったニュースがありました。今日は、日本最高気温の日だそうです。昭和8年に山形市で当時の最高気温40.8度を記録したそうです。87年たった2020年（令和2年）8月17日に、静岡県浜松市で41.1度を観測したそうで「日本最高気温の日」となったようです。これから41.1度を超す日が出れば、記念日が変わる可能性が有ると思います。それじゃー、世界一はと言いますと2012年（平成24年）7月10日アメリカのカリフォルニア州デスバレー国立公園で観測された、56.7度が世界記録となっております、想像できませんね。

まだまだ暑い日が続きますが、皆さん体に気を付けて乗り切って参りましょう。

来週は家族納涼例会ですので、なかなかお話ができないかもしれませんので、再来週は桜の聖母学院インターアクトクラブの年次大会があります。改めて皆さんへご協力のお願いを致します。

ちなみに最高があれば最低がありますが、1月25日に北海道上川地方旭川市でマイナス41.0度だったそうです。

最後に、今日は私の大好きなプロ野球のナイター記念日になっております。日本の横浜で初めて夜間試合が行われた日です。昭和２３年に読売ジャイアンツ対中日ドラゴンズ戦が行われた、3-2で中日ドラゴンズが勝利したそうです。残念!!

会員増強委員長の本日のスピーチに感謝して、会長挨拶は以上でございます。

例会次第

開会点鐘 会長 小林 利光
ロータリーソング「奉仕の理想」斉唱 ソングリーダー 阿部 正美
四つのテスト唱和 職業・社会奉仕委員長 木村幸二

ソングリーダー
阿部 正美会員

職業・社会奉仕委員長
木村 幸二会員

お客様紹介と会長挨拶 会長 小林 利光
会員スピーチ 安部 宏会員
委員会報告 スマイル BOX / ロータリー財団 / 米山記念奨学会
幹事報告 幹事 渡邉 邦彦

8月19日（土）ロータリー財団委員会セミナー
8月24日（木）家族納涼会（7、8月お誕生会）（親睦活動）
8月26日（土）クラブ活性化ワークショップ
8月31日（木）2023インターアクト年次大会（青少年会館）
9月 7日（木）早朝座禅例会
9月14日（木）ゲストスピーチ

〔お食事をどうぞ〕

月間スピーチ（職業分類増強） 氏家 健 会員

閉会点鐘 会長 小林 利光

今週の会員3分間スピーチ

安部宏パスト会長の3分間スピーチは「お盆休みの思い出」でした。ありがとうございました！

Interact

8月31日のインターアクトクラブ年次大会の企画がきっかけとなり、県内高校生が語り合う「哲学対話サークル」が聖母 IACの発案で発足し、キックオフイベントが開催されました。

県内高校生が哲学対話
サークル発足 福島でイベント

高校の垣を超え、県内の高校生が哲学対話サークル「哲学対話サークル」が発足。四日、福島市のファーム福島で開かれ、参加者は日頃の思いを伸びのびと語った。

「日々の悩みや学校生活の悩みなどを話し合った。今後も交流の輪を広げ活動していく」

サークル代表で高校3年の佐藤伸郎さん（18）は「自分の考えを発信できる高校生が集まってきてうれしい」と話す。

「思いを共有し、相談しやすい場にしたい」と話す。

問合せは佐藤さん（mail0736@yahoo.co.jp）へ。

8月31日のインターアクトクラブ年次大会の企画がきっかけとなり、県内高校生が語り合う「哲学対話サークル」が聖母 IACの発案で発足し、キックオフイベントが開催されました。

月間スピーチ「会員増強について」

氏家会員より、地区会員増強委員会のスライドを用いながら、詳しく説明いただきました。

氏家　健　会員

1．会員増強の目的

ロータリークラブにおいて会員増強をはかる目的は、クラブの会員数の減少は基より、地区のクラブ数の減少にもつながります。

2．会員増強はなぜ必要なのか？

〇会員増強はロータリーにおいて永遠のテーマです。何故なら、会員数が小さなクラブになると、標準的な委員会構成も組まれず、又、クラブ運営資金の原資である会費収入の減少により、奉仕活動にも限界が生じます。

〇数は力なりと言われておりますが、まさに会員数の多いクラブは活気があり、奉仕活動においても数多くプログラムを組み、実行する事ができます。

3. 好ましいクラブの体験が意味すること

〇会員が例会を楽しんでいる

〇会員がクラブの リーダーとリーダーシップを信頼している

〇会員同士が居心地よく過ごせる

〇奉仕の機会によって 地元や世界の地域社会に変化をもたらしている

〇会員が有意義な友情と個人的なつながりを 築いている

4. DEIを受け入れる(ROTARY.ORG/DEI)

〇多様性：あらゆる背景、文化、経験、アイデンティティをもつ人びとを歓迎します

〇公平さ：一人ひとりが成功するために必要なリソース機会、ネットワーク、サポートを利用できるようにします

〇インクルージョン：自分が大切にされているとすべての人が感じ、帰属意識を持てるような文化をつくります

5. クラブの会員増強計画

〇会員増強計画は、クラブの会員増強目標と入会・参加促進策をまとめる戦略計画の一部です。

〇会員増強計画の目標を決める際は、3～5年後のクラブのビジョン像を思い描き計画を立てましょう。

〇目標を定める際は、すべての会員が参加することで、責任感や目的意識を高めることが出来ます。

〇入会候補者にクラブの文化、歴史、活動、運営方法などを、入会前に候補者に十分に説明しましょう。

〇所属年数にかかわらず、クラブの運営や活動に積極的にかかわることで、ロータリーでの経験が充実し、会員であることの価値や喜びを感じるように伝えます。

〇入会候補者を例会や活動に参加してもらい、ロータリーを理解して頂いて、入会に導きましょう。

〇刷新性、柔軟性、多様性、参加促進の方法について クラブで卓話して、出席率を向上させましょう。

〇新会員を対象としたオリエンテーション実施して、ロータリーを理解してもらいましょう。

〇全会員が奉仕プロジェクトやクラブの委員会に積極的に参加してもらいましょう。

〇多くの会員が参加できるプログラムを企画、実行して共に参加し、「奉仕と友情の輪」を広げましょう。

6. クラブの会員維持・退会防止

① 入会後１～２年後の退会者

② 入会後３～５年後の退会者

③ 入会後６～１０年後の退会者

④ 入会１０年以降の退会者

それぞれの理由が考えられます。様々な機会を設け、役割を担うなどしていただき退会防止に繋げましょう。

（抜粋して掲載）

スマイル BOX

小林利光　渡邉邦彦　佐藤信博　安部　宏　三瓶善明　阿部正美　藤野圭史
佐藤　敬　氏家　健　野崎正広　本柳春男　木村幸二　菱沼勝秋　渡辺浩子
今泉　睦　梅津茂巳

■ロータリー財団 BOX

小林利光　佐藤信博　安部　宏　三瓶善明　阿部正美　藤野圭史　氏家　健　本柳春男
菱沼勝秋　渡辺浩子　伊東優子　梅津茂巳　勝嶋正幸

■米山記念奨学会 BOX

小林利光　安部　宏　阿部正美　藤野圭史　氏家　健　本柳春男　渡辺浩子　伊東優子
梅津茂巳

【出席報告】会員44名　出席者20名　出席率52.63%　出席免除者14名　休会者0名

国際ロータリー第 2530 地区 県北第一分区　福島 21 ロータリークラブ
事務所　〒960－8001 福島県福島市天神町 13－5　アンビックス５　201 号室 TEL：024－525－2331　FAX：024－525－2332
H.P. https://www.fukushima21rc.jp　E-mail　f21rc@fukushima21rc.jp